
CR COMICS
原作: KEY
漫画: みさき樹里
CLANNAD
- クラナド -
オフィシャルコミック 1



CR COMICS

原作:Key

漫画:みさき樹里

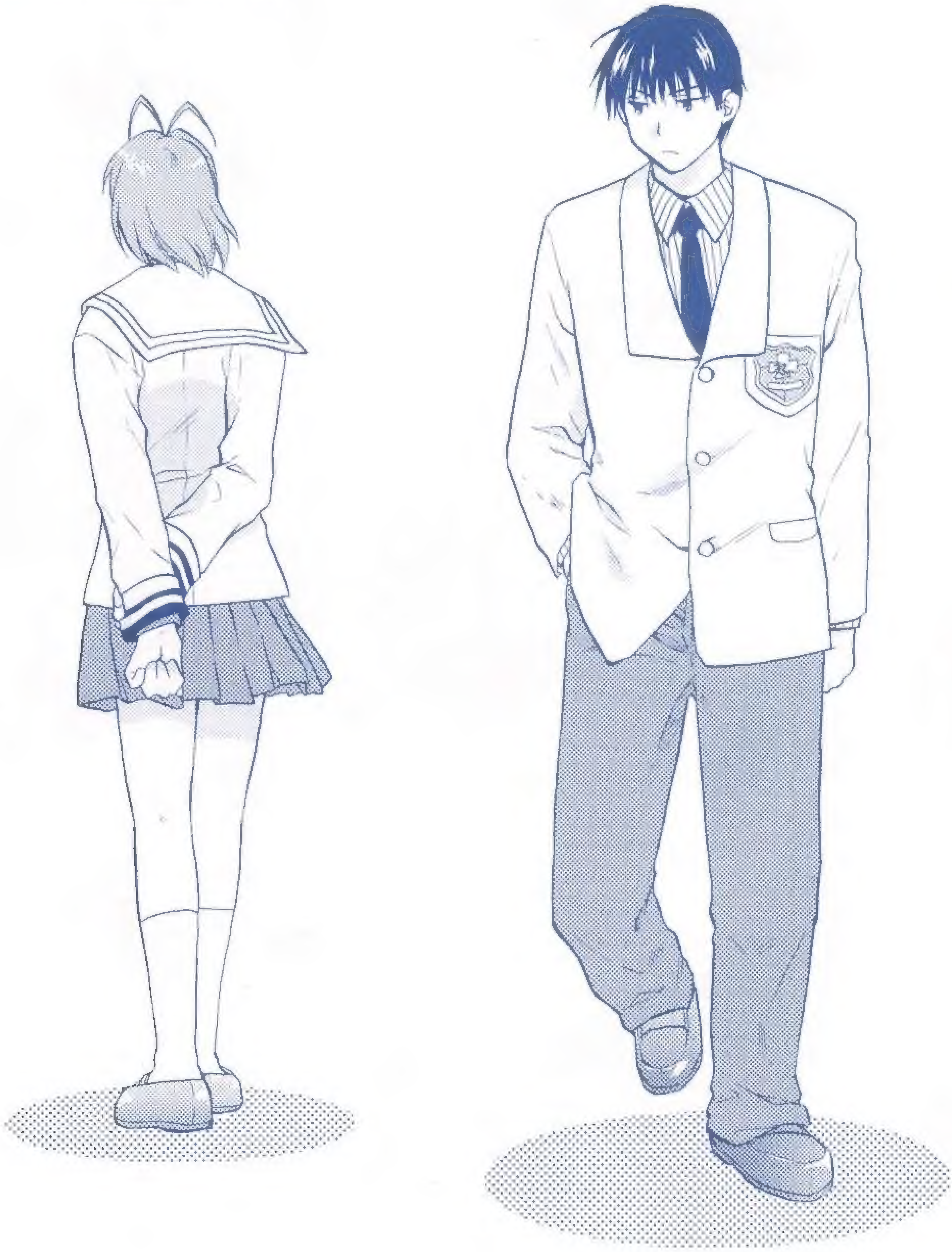
CLANNAD

-クラナド-

オフィシャルコミック 1


CLANNAD
－クラナド－
オフィシャルコミック 1

Contents




第1回
～はじまりは、坂の下～


校門まで
残り200メートル
そこで立ちつくす
誰が好んで
あんな場所に
校門を据えたのか
長い坂道が
悪夢のように
延びていた
——…
はぁ…
すでに1時間目が
始まる頃だろうか
登校中の生徒は
見あたらない
——まったく
余計
嫌になる
——行くか…



…はあ…
この学校は好きですか
!?
…俺!?
ドキ
ドキ
……
……わたしはとってもとっても好きです
——いや 俺にではなかった
ひとり言だ
でも なにもかも変わらずにはいられないんです
楽しい事とかうれしい事とかぜんぶ
…ぜんぶ変わらずにはいられないんです



…それでも この場所が 好きでいられますか
わたしは…
不器用な奴だと思った
――見つければいいだけだろ
――…
え…
――と 次の楽しい事とか うれしい事を 見つければ いいだけだろ
はっ
あ
…あんたの そういうのは ひとつだけなのか？ 違うだろ
アホか 俺…
何を エラソーに 語ってんだか



……
…つーか あんた 遅刻だろ…
あっ…う えっと…
ぴくっ
…何してんだ ホラ 行くぞ
あ あんぱんっ
…返事か それ…？
つーか俺 恥ずかしい
変なヤツ…
キーンコーン
カーンコーン
岡崎ーっ
学食 行こーぜ 学食ー
あ 200円しか 持ってないや 下級生から 借りよっ
今来た ばっかだろ お前…
さも前からいたようにすんな
何？ 機嫌悪い？ 仕方ないな 岡崎の分も 借りてやるよっ
いらんわっ
春原陽平 俺が唯一学校で 気の許せる 相手だ
アホだけど


――…でさ
言ってやったよ 僕
謝って済むなら警察はいらないんだよ!! ってね
ほ――
そしたらさ そいつ――
キャッ
ドンッ
ああっ――ってーな!! どこ見てんだよっ!!
くわっ
女だととたんに強気だな
びくっ
ひっ あ あの…っ
なんだ委員長じゃねえか
大丈夫か?
はは はい すみません…
岡崎っ
あわわっ
なんだよ 気持ちワリーな…
名案だよ 岡崎
あの女にさ 医者料って言って金借りればいいんだよ!
はぁっ? でもお前…
それを言うなら慰謝料な
大丈夫 大丈夫!! 僕にまかせとけって!
コツ コツ
――へえ… 誰から借りるって?
だから委員長だって!!
ははっ



あんたねえ!! 人の妹いじめてんじゃないわよっっっ!!!
ドガッ
ゴッ
ドドッ
ひいいいっ
誤解ですっ!!
後ろに杏が――って遅かったか…
あーあ
もっと早く言いましょうねっっ!?
おお姉ちゃん!! やめてあげてっ
そう?
椋に感謝する事ね…
ふぁい… あ ありがとうございまふ…
ビクン
ピクン
たくもー 朋也もちゃんとコイツの監視しててよね!
ひゃー
おいおい… 俺の所有物じゃないぞ ソレは
――と やべ 席うまっちまう
何? 学食? どうすんのよ 陽平
知らん! 置いといてやれよ
じゃあな
あ 朋也
にこっ
きゅう


遅刻もほどほどにしときなさいよーーっ
大声
うるせっ
食堂
コト
ーーったく…
余計なお世話だっつーの
ざわ
ざわ
だいたい今に始まった事じゃねえだろ
どどっ
はふっ
ま…関係ねーけど…
ーーてことは
あいつもそうって事か…


ぶっ
うおっ!?
わっ
?
売店
おばちゃん これー!!
俺コーヒー牛乳ー!!
やきそばあるー?
ぽつん
い…いるし…っ
ゲホッ
ゲホッ
きったねーなー!!
ーはは…
ありゃ一生買えねーぞ
……
カレーパンほしー?
よっしゃーコロッケゲットー!
えー売り切れ〜?
おばさんこっちー
あ―――くそっ!! 気になる!!



あんた
何買うんだ
え…っと?
だーから パン買うんだろ!?
買ってきてやるって言ってんだよ!!
えっ!? …そんな…ダメですっ
お気持ちはうれしいですが…
見ず知らずの方に そんな事頼めませんっ
で…でもっ
いいから言えって!! 見てられん!!
あのっ
いいから!
今日はもうあんぱんしか残ってないよ~
がらん
そこのふたり~
わっ
ーーいいんだよ ついでなんだから
見ず知らず…
……
ホレ見ろ
すみません…


――で
なんでこんな状況なんだ…？
ぐるぐる
…すみません
ご迷惑かけた上に付き合っていただいて…
あー…いや…
…結局あんぱんで悪かったな…
そんな事ありませんっあんぱん美味しいですっ
えへへっ
ぱん
……
はむっ
…なああんた…
なんでひとりなんだ？
つぶあんたっぷり


…ま ひとりが好きってんなら別だけどな
――……
この学校好きですか？
わたしはとってもとってもとっても好きです
でもなにもかも変わらずにいられないです
楽しい事とかうれしい事とかぜんぶ
ぜんぶ変わらずにいられないです…
それでもこの学校が好きでいられますか？
それは朝にも聞いた問いだった


…
ひとりが好きなわけじゃないです…
……悪かったよ…
――てことは なんだ？
学校が好きで でもそれが 変わってしまった 楽しかったことも
だから ひとりでいるんだ こいつは
つ――か…
変わってしまった事ってなんだよ？
なんの事だか わかんねえ
よっと
あ はい…
長い間 休んでたんです 話をする人も いましたけど…
――なんだ じゃあ簡単だろ
自分から行けば いいじゃないか 休んでて会いづらい っていうならさ
いえ… もう いないんです
――は


みんな卒業しました
ポロ
…あんた どんだけ休んでたの
9ヶ月です
え…
——年上?
……マジ!?


……
やっぱり…気を使わせちゃいますよね…
しょぼ…
うっ
いや…今のはそういう意味じゃ――…
……
年上に見えねえ
ま…なくてもそうなるわな…
はい…
…なら作ればいいじゃないか新しい友達
でも…みんな受験があるからそんな雰囲気じゃなくて…
――何もかも変わらずにいられないんです
…当然だ時間は過ぎていくんだから
…やりたかった事とかないのか?何でもいい
部活とか入ればいいじゃないか
キュッ
部活…


——入りたいと思っていた部活なら…
おそれだ なんて部だ？
——…
演劇部です
じゃあ決まりだな放課後見学に行けよ
えっ
わっ わっ
き急すぎますっ
楽しくしたいだろ？
それはしたいですけど…っ
——楽しかつた事やりたかつた事…か
…大丈夫だって
頑張れよ
——…はいっ



あ
朋也
何してんの？
なんだ
杏か…
予鈴鳴ったぞ
いいのか 委員長サマ
いーのよ
ウチのクラスは！
何よ その言い方
あんたも
フラフラ
してんじゃない！
何してんの!?
──俺って意外と
聞き上手
だったんだ
笑える
はぁ？
何ソレ
──と
そうだ
お前さ
演劇部って
どこか知らねぇ？
ええっ
演劇ぃ!?
本当
どーしたの？
アンタ…!?
うっせーな
いいから
教えろよ
──えっと確か…
あ でも
演劇部って──…
空き教室を
使ってたって
聞いたけど…
うーん…


しん…
あ
こんにちは…
…
状況わかってんのか？
え…


――…
俺 3-Dの岡崎朋也 よろしくな
あ はい
3-Bの古河渚です
よろしくお願いします
あの…岡崎さん
どういう事でしょうか…
廃部したんだ
演劇部は
――…
自分を見ているようだった
夢や希望がなくなるのは一瞬なんだ


カタン…
起きてんのか…？
いつからだろう
こんな日常が
あたり前に
なったのは
母親を早くに亡くし
父親とふたりで
暮らしている
親父とは
些細な事でよく
衝突した
親父は厳しかったが
普通の親子
だったと思う
中三の冬…
親父からの暴力で
右肩にケガを負った
それでも俺は
意地を張って
病院には行かず
――結果的に
やっていたバスケを
続けられなくなったのだった


その責任からか
親父は変わった
堕落し よそよそしくなり
俺を「くん」付けで
呼ぶようになった
その過程は
まるきり
他人になっていく
過程だった
寝るか
今では
夜中まで時間をつぶし
親父が寝た頃に
家に帰る――…
いつしか
それが当たり前に
なっていた
あ…
あいつ…
古河って
いったっけ…
ショック
だったに
違いない
――明日はちゃんと
学校まで
来られるのだろうか


次の日も古河はそこにいた
まるで俺を待っているかのように


——そう感じたのは
気のせい
だったろうか
……
行かねえのか?
あっ
いえ…
その
行きます…
すうっ
あんぱんっ
……
フランスパン
なんの事か
わからない
です
いや…
お前が
言ったん
だろーが
…これは
おまじない
みたいな
ものです
楽しみにしてる
ものの名前を言って
それを励みに
一日頑張るんです
わたしの
オリジナル
ですっ
えへ
ああ…
昼の…
——そんな小さな
楽しみしかないのだ
カツサンドっ!!
ひや…っ!?


——あ
古河!! カツサンドだ そっちの方が 頑張れないか?
え… カツサンドって いうと 一番人気の パンですかっ
…だとしたら ものすごく 頑張れますっ
でも… わたしには…
俺が なんとか してやる!
だから古河 カツサンドに しろ
——それなら その楽しみを 増やせばいい
な?


古河の場合なら
それができるんだ
カツサンドっ
っしゃ!
よし
行くぞ
あっ…
はは はいっ
やろうと思えば
叶う事なんだ


岡崎っ!!
また遅刻か!
何回目だかわかってんのかっ!? ああ!?
何の為に学校に来てんだ!!
聞いてるのか岡崎っ!!
——だけどさ
俺にだってまだあきらめきれない思いがあるんだ
売店
おばさんこれっ!!
くそっ
ぎゅう
どけっお前ら!!
ぎゅっ
だんっ


ついでだからな
あ、りがとうございますっ
昨日…あれから考えました
考えたって何を
えっと…わたし
演劇部を作りたいと思うんです

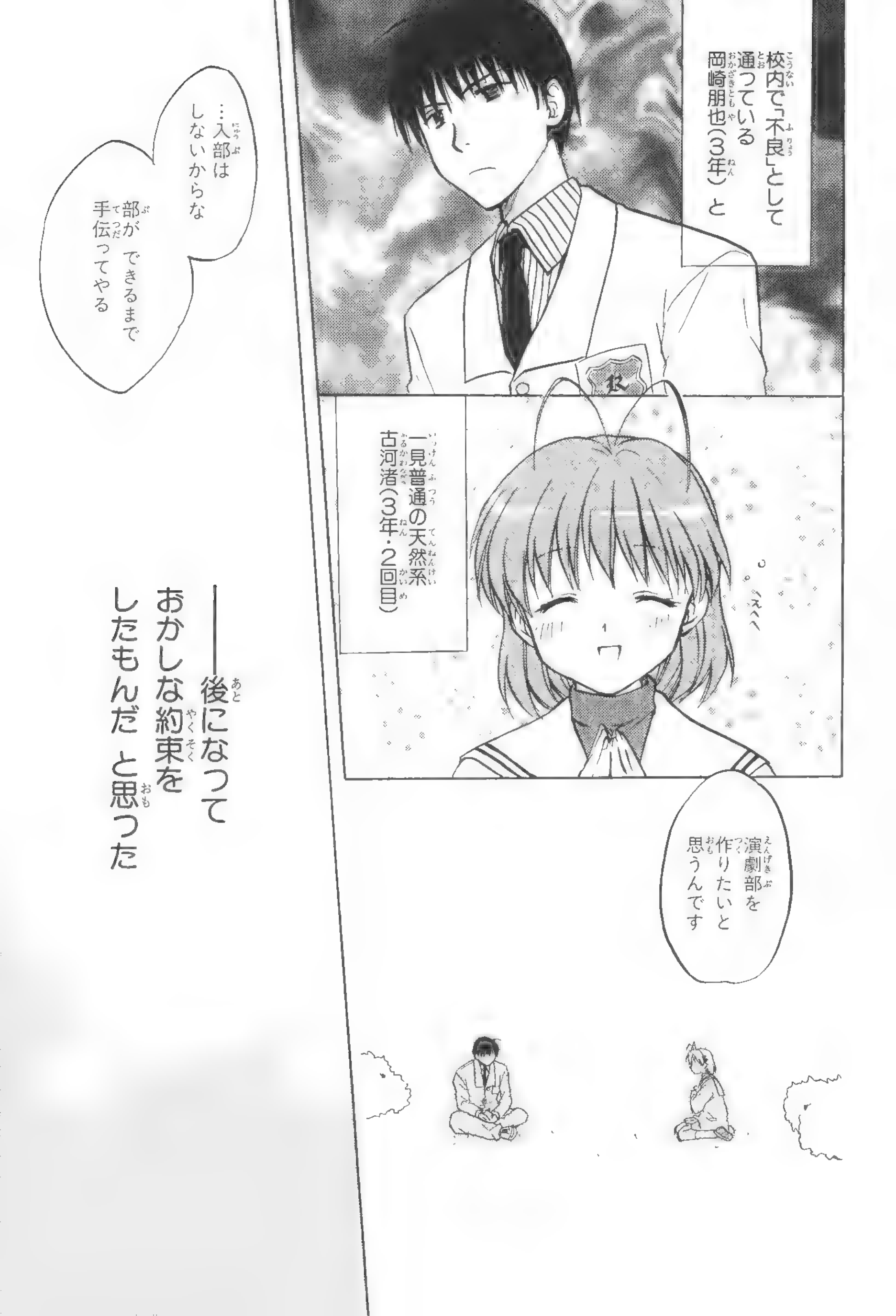


ふにゃ
…だから
その時は
岡崎さん
応援して
くれますか…？
前向きに 足掻いてみようかって
——ああ…
——入部は
しないからな…
部が
できるまで
手伝ってやる
それも
悪くないかもと
思いながら
美味いか？
えへへっ
何笑ってんだ
はいっ
ものすごく
頑張れそう
ですっ
そっか
よかったな

CLANNAD

-クラナド-

オフィシャルコミック


校内で「不良」として通っている岡崎朋也(3年)と
一見普通の天然系古河渚(3年・2回目)
えへへ
演劇部を作りたいと思うんです
…入部はしないからな
部ができるまで手伝ってやる
——後になっておかしな約束をしたもんだと思った



第2回
～笑顔のその先に～


キュッ
——んっと
キュッ キュッ
ばーん
演劇部員募集!!
演劇に興味のある方はいませんか!?
部の発足のため.演劇部員を募集します。
5月1日に説明会を行いますので
演劇が好きな方.興味のある方は
ぜひ おこし下さい♪
詳しい事は責任者までどうぞ!
よろしくお願いします!!
責任者 3-B 古河渚
こんな感じでしょうか？
ああ いいんじゃねぇ？
——放課後 俺は空き教室となった演劇部部室にいた
でも 地味だな
そうですね…
演劇部員募集!!


何がいったい足りないんでしょう
うーん…
部室といっても部員は古河ただひとり
そこで てっとり早くポスター制作に取りかかったわけだが…
イラストとか描けばいいんじゃねぇか?
えっ
イラストですか…
美術はあまり得意じゃなくて…
昔 似顔絵を描いたら美味しそうなカレーライスって言われました……
俺はキャッチャーミットって言われた事があるな…
——ま…何も描かないのもひとつの手だよな…
はは…
あ…いえ せっかくですから頑張って描いてみます
カレーライスをか…?
——……
しんけん
——……
…まいいか…


描けました岡崎さんっ
だんご大家族です!!
演劇部員募集!!
うじゃーっ
ドォオオオオン
キモ!
ーーって良くねェエエエ!!!
………!!!
ーーあ いや……ウソウソ…
な…なんでだんご大家族?
流行ったのってだいぶ前だぞ?
…だって
かわいいです だんご大家族
それだけじゃないです だんご達は皆仲良しなんですっ
素敵ですっ!!
コーッ!!
あーー…わかったわかった
ーーまあ本人が気に入ってるならいいか…
うじゃー
募集!!
…本当にそうか?
いいのか!?
?


…コピーして貼ってまわろうぜ…
はいっ
――前途多難だった
岡崎さん今日はありがとうございました
ん いやー…
さて… これからどうすっかな
――どうせ春原んちくらいしか行くとこねえしな…
――何か食ってかねぇか?
え?
あ…いえ私は帰って夕食のお手伝いをしないといけないので…
岡崎さんは帰らないんですか?
――ああ
言ったろ? 不良って夜中まで時間つぶしてるんだ
親とも顔合わせたくないしな


そうですか…
あのっ
よかったら家で夕食を食べて行きませんか？
……俺いいのか…？
んな急にー……
もちろんですっ岡崎さんにはたくさん助けてもらってますから！
どうぞ来てください
…なら行く
断る理由もなかった
ただいまです
お母さんっ夕食のお手伝いしてきますねっ
おかえりなさい
渚ありがとう
パン屋…


渚のお友達ですか？
こつぜん
ははぁ…岡崎ッス
…あの…？
渚なら夕食の仕度をしに行っちゃいました
フツーいるだろっ
あ…あいつ…
ところで岡崎さん
パン食べませんか？
すい
…はぁ じゃあ遠慮なく
ーなんだ？このズレたテンポは…
どうぞ〜っ新作パンですよー！
ぱりっ
ボリ
ボリ
ボリ
ボリ
それはパンの中におせんべいを入れてみたんです
アイデアの勝利ですよねっ
惨敗っす!!
どうでしょうか？
キッパリ
あの…
はっきり言って最悪です


―えっ
つかパンとせんべいは別々に食うもんです
罰ゲームでもない限り食えたもんじゃ――…
ギョッ
そんな…っ
私の…私のパンは罰ゲーム用だったんですねーっっ!!
わぁあああああっ
ダッ
あっ!?
ヤベ…つい…
わぁあぁあ…
オイコラ小僧
てめー…
早苗を泣かしておいてタダで済むと思ってんのか? あ?
奥からヤンキーのおっさんが出てきました
ゴゴゴゴ


わっはっはっ
古河パン
いや～ まさか こんな チンケな小僧が 渚の友達とはな！
はーっはっはっは
とんだ お笑い草だぜ!!
父・古河秋生
はっはっは
ゲッソリ
そんな事 ありませんよ 秋生さん
先程は私も 恥ずかしい所 見せちゃいましたね
お詫びと言っては なんですが たくさん 食べていって くださいねっ
母・古河早苗
凄いです もう打ちとけて ますっ
さすがですっ
当たり前だろ!? 渚!!
この親にして この娘あり…か
バチーン★
今日は とんかつ 作ったんです
岡崎さんは とんかつ 好きですか？
…ああ
好きだぞ


わあっ
なんだと!!?
渚はやらんぞ
小僧ッッ!!!
お父さん
とんかつの
話です
…なんだ
この家…
…おい
小僧
チッ
むっ
…小僧
じゃねえ
岡崎朋也だ
かあ……っ!!
岡崎だと!? みみっちい
名前だな オイ
てめえ 今すぐ
大宇宙朋也に
改名しやがれ!!
ふざけるな!!
んなっ
ムチャクチャ
言うなオッサン!!
全国の岡崎さんに謝れ!!
素敵な
名前ですねっ
私もそうお呼びして
よろしいでしょうか
大宇宙さんっ
イヤイヤイヤ!!
岡崎っスから!!
いかん…
この家族の
ペースに
ハマりつつ
ある…
ぐったり…


――でも まあ
お美味い…
その日食べた とんかつは 不思議と やたら美味かつた
ボ
ボ
ボンバヘッ
フンフーフ
ん 朋也 …何アレ
歌詞 ごまかせて ないし
しっ 構うな かわいそうな 子なんだ
目を合わすな
ニフーフ ボンバヘッ
フフンフーン
フンフン～フ


――って 誰の事言ってんですかねぇっ!!
あんたの脳がかわいそうって話よ
脳!!?
つかウゼェ 言いたい事あるなら普通に言えよ
……じゃあ聞くけどさ
最近 岡崎なんかやってない?
ガ
昼飯ん時もいないし 放課後もさっさと消えちゃうし…
面白い事やってんなら僕も混ぜてよね
それであの行動……子供か……?
へ――…あんたらいつも一緒だと思ってたわ
気色悪い事言うなよ…
――やべ 春原にだけは知られたくねえ…
…単に具合悪いんだよ…
察しろよ
なんだそうなの?
――そういえば前に私に聞いてきたわよね
たしか演劇が――
ドキッ



なになにっ!? 何か始まった!?
わぁぁあっ
あ…
ひゃーーっ 工業高校の奴等じゃない!!
た… 助かった…
わいのわいの
何アレ ガラ悪そ～
ブオオオン
ブオオオオオ
うわ だっせーな
…何だあれ どーすんだ
ヤジウマ
オオオオオ
オンオン
ちょっと あんたたち じゃない でしょうね!?
心外だな…
あ 誰か 出てきた
え
…女だ
まさか… 話し合いなんか 無理だぞ
智代さん やっちまえーー!!
わあっ
ガンバレ 智代ーーっ
あの人… 知ってるわ
あ
!


この春に
編入してきた
2年生
編入？
坂上智代
有名人よ
!!
ドッ
ドカ
ガキ
……すげ
秒殺…
ワーワー
わあああっ
ザッ


――はっ
とんだ茶番だよ
は？
あんなの演技に決まってるじゃん出来レースだよ
おおかた人気取り目当てじゃないの？
行ってみようぜ岡崎！化けの皮はいでやるよ
おいおい…
…たく仕方ねえな…
え？行くの!?
ああ…退屈だしな…なんで？
なななんでもないわよ
せいぜい気をつける事ねっ!!
ずん
ずん
何怒ってんだよ
――…
バカ…
ザワ
ザワ
…失礼します


ふーーー…
さっ
坂上さん！
だ 大丈夫!?
心配したよー
すまない
大丈夫だ
でも さすが
坂上さんね
あんな不良を
相手に…
わ〜っ
大した事じゃ
ないさ
それに
皆 あのままじゃ
迷惑してた
だろうしな
へーーえ
大した事ない
わけないじゃん
人気取りも
大変だねぇ
…なんだ
おまえたちは
さ 坂上さん
この人たち
3年の不良だよ
ね あっち
行こう？
ニヤ
ニヤ


…私に用があるのか？
そうだよ 見てわかんない？
…みんな先に帰ってくれ
さ 坂上さん!?
大丈夫だ
ここじゃなんだ 場所を変えるぞ
お気がきいてるねっ
ははっ
スタスタ
ぞろぞろ
俺は関係ないからな…
さて
ここなら文句ないだろう
部活棟ね…
——でなんだ？
はあ？



話があると言ったじゃないか なんだと聞いている
バッカじゃないのっ!? 話聞いてんのかよっ!!
…だから なんの話だ
…はっ
気に入らないんだよねっ あんな茶番まで見せつけてきさっ!
——茶番?
ピク
そうだろ!? 男より女が強いなんてありえません!!
な! 岡崎っ
ちなみに俺は無関係だからな
ヒマだったから
そこは同意してくださいよ!!
勘弁してくれないか
この学校でもめごとはあまり起こしたくないんだ
ははぁ やっぱウソってことか!
何? 内申とか上げようってーの?
ああ 女だからもっと楽にできるかっ
ははは っ
——おい春原 今のは——……


――喜べ
へ
この学校では暴力をふるわないと決めていたが
お前だけは特別に相手してやろう
ジリ…
ジリ…
……っ!!!
よかったな春原! 相手してくれるってよ!
ひぃいっ
どうしたかかって来ないのか?
……う…
ゴゴゴゴゴ
ち…ちくしょ――!!!
死ねやぁああ――っっ


ぎゅんぎゅん
あ〜〜っ
よわっ
ドシャアアア
バキバキ
ハァ…
…しまった…
ついムキになってしまった…
春原ならこれくらいで死なないから大丈夫だぞ
──お前もやる気なのか？
まさか俺はただ興味本意ってヤツだ
…そのようだ
だろ？
じゃあ彼女は
は？


ふ
ギョッ
古河…!?
あ…
なんだ知り合いか
ーーあ
…まさか見られたか…?
あ…その…
…古河ーー
はじめましてっ 3-Bの古河渚と申します!
たたっ
びくっ
ーーあれ?
岡崎さんにはいつもお世話になってますっ


…まさか…
…私に言ってるのか？
はいっ
岡崎さんのお友達にごあいさつするのは初めてですけど
ああ――…
そうくるか…っ
…確かに友達作れとは言ったが…
せめてアポ取ってからに――…
いやいや んな問題じゃねぇ…
よ…よろしければお友達になっていただけたらと思いまして…
あわわわ
古河…
――何を変な顔してる岡崎
――え
え
別に構わないぞ
せっかく彼女がこんなにも頑張っているというのに…
優しい言葉でもかけてやったらどうだ
!!


そ そんなんじゃねえええっっ!!
かっ
かっ
か彼女なんてそんな…
ボボボ
なんだ違うのか
あたり前だっっ!!
…うん
2年坂上智代だ
よろしくな古河さん
は…はい よろしくお願いしますっ


――…
よかったな 古河
…はい
まあいつは 2年だけどさ
イイ奴だと 思うぜ
たぶん
えへへ…
岡崎さんに 言われて 頑張ってみて よかったです


……
…そうそう
あいつ演劇部に入らねぇかな
――あ はい それは聞いてみたんですが…
坂上さん
生徒会長を目指しているそうなんです
ドクン
どうしても叶えたい事があるから
目標があるんだ
すまないな…古河さん
だから入部はできないって
……生徒会長？
ドクン
ドクン
ドクン
…ちょっと残念です
そうか…
――最悪だ



自分の劣等感が浮き彫りになる
ドクン
ドクン
——でも生徒会長なんて凄いです
応援したいですっ
あっ
で でも私なんかの応援でどうにかなるとか思ってはないですけど
そのっ少しでも力になれたら…と
…私にはそのくらいの事しかできませんから


…あのな…
お前はさ
もう少し
自信持てよ
不快感が
消えていた
…そんで
笑ってろ
こいつは
人を和ませる
それも
お前の力だよ
お…おーい
誰か〜〜っ
引っかかってるんですけどーっ!!
しくしく
お…
岡崎イ〜〜〜

CLANNAD

-クラナド-

オフィシャルコミック


……親父
寝るなら布団で寝ろよ…
なぁ…
親父
どっ
……父さん

第3回（だいかい）
～雨降って（あめふ）～




その日は朝からパッとしない空だった
――っと ポスターはこないだ貼ったろ
あとは―― 説明会か…
…ありがとうございます
あ?
岡崎さんがいなかったら わたしきっとひとりでてんやわんやですっ
あー… いや ま けしかけたのは俺だしな…
つーか まだ部員すら集まってないんだからな…
そういうのは後で言えよ
――はい でも…


…岡崎さんにも演劇部にいてほしいなって
ちょっとそう思っただけです
…入部する気はないからな…
は はいっ これはわたしの一人言ですからっ
…たく
えへへ
…アレ 知り合いか？
…いえ
全然知らない方です
それにしちゃ こっちの方見てるな…
お前の方気にしてんじゃないか？


ほら チャンスだろ 手でも振ってみろよ
えっ
向こうも振り返してくれるかもしれないだろ?
ええっ…と お岡崎さんっ まずお手本を見せて下さいっ
だからこう にこやかにだな……
ってアホか!! 俺じゃ やっても意味ないっつーの!!
何させんだよっ お前だよ 古河…っ!!
あはっ すみませんっ
あははは
あは……
はは…
――あ
―……
ポリ…
逆効果だったか…
―――……


…古河
…はい
ガラッ
ああ
やっと来たか
今日は来ないかと
思ったぞ
部室に
行こうぜ
ぱぁっ
わっ
さ坂上さん
こんにちはっ
タタッ
すまない
勝手に
お邪魔
してるぞ
とっ…
智代…
げっ
どうしたん
ですか?
うん 大した
用じゃないが
少し気になってな
教室まで
行っても
良かったんだが…
はい?


岡崎
ドキ
純粋な疑問だ
どうして演劇部に入ってやらない？
坂上さん！
別に責めているわけじゃないぞ方法としてそれが一番早いからな
…別に…
ああいうの入る奴の方が珍しいだろ
—何か理由でもあるのか？
…ふむ
一理あるな
…古河は知ってるのか？
岡崎の入部しない理由
あ…いえ
—智代には
見透かされているのかもしれない
…だから
理由なんてねえって…言ってるだろ


…それは嘘だろう
口出しする権利くらいはあると思うんだ
うん
私は古河の友達だからな
―…
――古河 教室に戻るぞ
あ… は はい
おい 岡崎
…………
古河に話す


それでいいだろ
うん
……
ふふ見透かされてるって顔してるな
当然だ
一体俺と智代のどこに共通してる所があったというのだろう
…私も似たようなものだったからな
…似てる？
しかし


バレてしまった事は仕方ない
…バスケ
やってたんだ
中学の時
―……
…バスケ部だったんですか?
ああ
…結構それなりになり頑張ってたんだ
――けど
高校推薦が決まった矢先に事故が起こった



ずる…
ーーっ!!!
ぐっ…
ってーな…っ
クソ親父…!!
ーー
…朋也
肩を…
うるせぇ!!
触んなよっっ!!!
ほっといてくれよっっ!!
つまらない意地で
俺の右肩は、
それ以来
上がらなくなったんだ
自業自得だろう
…けど
高校入って
辞めちまったよ


――……
辞めてしまったんですか……？
ああ
…バスケ嫌いになってしまったんでしょうか…
嫌いっつーか
……まキツかったしな
――……
――要するにその程度なんだよ俺は
演劇部には協力するよ
…約束だからな
…キーーン
コーーン…



カーン
コーン…
岡崎さんっ
バスケしませんかっ



今日の放課後グラウンドで一緒に――…
…はぁ!?
ビクッ
わ わたし運動はあまり得意じゃありませんけど…
でもっ
いいか古河!!
そんなつもりで話したんじゃねえっ
余計な事すんなっ!!
ぐっ…
…でも…
わたし
岡崎さんに背中を押してもらいましたから


だから…
グラウンドで待ってます
はー
楽しい放課後だってのに金もないし…
なーんか面白い事ないかねぇ…
な岡崎
うるせーな本でも読んでろよ


読もうと思ってたマンガ 岡崎が持ってるんだよっ 返せよっ!!
………
ふーん…
って思いっきり無視かよっ!!
………
しーん
……ちっ もういいよっ!
あーあ
……
──5時か
授業が終わって2時間経つ
余計な事すんなっ!!
少し強く言いすぎたかもしれない
──けど古河にもわかっただろう
あ
雨だ


え……
ザァーーー…
急に降りだしたよね
それって………
ヤバいんじゃないか……?
ドッドッドッ
岡崎——傘とか持ってる?
すっく
うおっ僕の本!!
ばさっ
お前の傘は頂いた!!!
ザシッ
貸して欲しいなら普通に言えよっっ!!
ていうかそれってドロボウですよねぇっ!!?
いないと思う
いるはずがない
ザァアアアー



あれだけ強く言ったんだ
――……
…お前
バカだろ…?
ザアアアアアア
パシャ
パシャ
――はい…


バシャ
バシャ
……っ!!
言ったろ!? 俺っ!!
こんな…っ
ズブ濡れになる前にわかれよ!!
あ…
…でも
わたし
岡崎さんにも知ってほしくて
ひとりじゃできない事も
一緒ならきっとすごく楽しいですから


だから…
――……
――なあ
楽しい事は増えたのか？
ひとりでいる事は少なくなったか…？
…わかった
――なら見せてやればいい
バチャッ


え……
……古河……
ダメなんだ
俺
右肩
壊れてんだ…
中学ん時
怪我して…
それ以来ずっと
上がらねえんだよ
——あ


…わたし
無神経で…
岡崎さんを
傷つけて
しまいました…っ
…ごめんなさい…っ
——…っ
次の日 古河は
体調を崩して
欠席した
あの…
岡崎さんっ
演劇部を
作りたいと
思うんです
岡崎さんも
入りませんかっ
俺に言うな
俺に!!
他を当たれって


よかったら仲良くしてくださいっ
そんなつもりがないのはわかっていた
あいつは常に好意的だった
それを俺ときたらこれ以上ないってくらい突き放して
すべて無駄にしてしまった
――何もなくなった



元に戻ったと言った方が正しいかもしれない
ザワ
ザワ
岡崎！早くしないと売り切れるって！
ああ…
――古河
…………
岡崎ってば！はーやーくー
はっ
あ…ああ
わかってるって――…



手でも振ってみろって
えっ で…でもっ
岡崎さん…っ
ーっ!!!
だっ
わっ どどこ行くのっ!!?
うおっ
昼飯はーっ!!?
パスだっ
ええぇ〜


ハァ
ハァ
……
――よう
…良かったです
ポツ
岡崎さん来てくれました
…ああ頑張ってたからな お前
よっ
本当に
良かったです…
ぽた
ぽた



…もう来てくれないかと…っ
く…
ほんとに…良かったです…
ぐす
ぐす
ぐすっ
文句のひとつもあったのに
それを見たら全部ふっ飛んでしまった
古河…
父さん
…また迷惑をかけてしまったかな…
朋也くん
うん…ああ――…
いつもすまないね朋也くん…
――……


…古河泣くな
呼べばいくらでも来るから
俺みたいな奴でも必要としてるなら
…泣きそうな時でも呼んでいいから
……はい
——俺はきっと古河の事がうらやましかったんだと思う

CLANNAD
-クラナド-
オフィシャルコミック

第4回(だいかい)
～ねがいはそらへ～




ザワ
ザワ
あ……
岡崎さんです
とお友達の方
くすくす
——岡崎さん



泣くな 古河
ひとりで泣きそうな時は
呼んだってかまわないから
岡崎さんは言ってくれました
くじけそうな時いつも支えになる言葉を言ってくれました
——それなのにわたし助けてもらってばかりで……
…何か
こんなわたしでもお返しする事ができるでしょうか
きっといつか——…
それに岡崎さん自分の事不良って言いますけど
全然そんな感じしないです何かの間違いです
何か他に理由が——……


……あれ？
ポスターが
なくなってます…
昨日まで確かにここに…!?
あれ？
他の場所は…っ
ハッ
ドンッ
あっ
わーーっ!!!
ゴロ…
ガッ
あうっ
わ…っ
すすみませんっ！
おケガはありませんかっ!!?
だ…大丈夫ですっ
キッ
じわっ
風子 子供じゃありませんから
これしきの事で泣いたりしませんっ


涙目です…
ぶつかってしまったお詫びといってはなんですが
これ
すっ
受けとって下さいッ!!
ずばぁあああん
——え
わたしに…ですか？
はいっ
ずいっ
木彫りの星…でしょうか
…えっと あの
それじゃあ…
あ ありがとうございますっ
ぱぁーっ
——それから もうひとつ
風子 お願いがあるんです


キーンコーン
ザワ
岡崎!
ザワ
ザワ
岡崎ってば!!
待てって!逃げることないじゃん!!
逃げてねえよ全然
でかい声で呼ぶな
めっちゃ逃げてますよっ
いいから待てって!!
ズンズンズン
おりゃらっ
キュッ
ピタ
き…急に止まるなっっ!!
ハァー
止まれって言ったり止まるなって言ったりワガママな奴だな
僕が悪いんですかねえっ!!?
まっいいや
岡崎 それより放課後 この後付き合ってよ
コホッ
嫌だよめんどくせえ
ーやっぱお前……
女できたろ?



な……
何寝言言ってんだ春原!?
ああ?
がっ
だっ
だって昨日の昼一目散に駆けて行ったじゃん!!
その後中庭行ったろ!?
………
うぐ
泣いてたじゃんあの女子
最近なんかコソコソやってたのもあの子絡みなんでしょ?
ぺっ
こいつにだけは言えるか――!!!
―…
?
…あいつとはそういうんじゃねえんだよ…
ふーんじゃあ何?
何って――……
あ――…
仕方ない実はな春原



あいつんちはパン屋なんだ…しかもすっげーイケてる店でさ
……で？
わかんねーか？お前も購買のパンには飽きただろ
あいつと仲良くしてりゃパン食べ放題！――ってワケだ
前にちょっと行ったけどさ すぐ出してくれたぜ パン
マジでっ!? 上手くやってんじゃん
そ・そうだよね
考えてみりゃおかしな話だったよ！
そもそも岡崎に女ができて僕にできないハズないもんねっ
僕 浅はかだったよ
ははは っ
あ―― そうだな
棒読み
もちろん ひとりじめなんて セコい事しないよね？
あ!?
しまった…墓穴…
…実はアイツ お前の事 大っ嫌いなんだ
金髪は ムシズが 走るってよ
マジかよっ!? 面識ないのにっ


キラーン
待って下さいっ
そこのヘンな人っ!!
したたっ
ビクゥ
ヘ…ヘンな人~!?
……
…呼ばれてるぞ そこのヘンな人
ええっ 僕の事っっ!?
ビシ
そこのヒマそうなふたり組ですっ
僕だ
俺もかよ!?
実は おふたりに ビッグなプレゼントを 持ってきましたっ!!
何それ!? マジでっ!?
はいっ
風子 生まれて このかた 嘘は ついた事ありませんっ


じゃーんっ
おめでとうございますっ!!
なんだこりゃ…?
木彫りの星…
わかった!
手裏剣でしょっ
実はヒトデですっ
がたぁん
はあぁーっ!!?
あれ
嬉しくないですか?
どこの世界にヒトデをもらって喜ぶ男がいるかっっ!!
何言ってますかっ
サイコーにかわいいヒトデですっ!
この曲線美といいツヤといいどこをとっても一級品です
ばーん
女子高生にもチョーかわいいと大人気ですっ!!
見てくださいっ
この――…
うっとり…
……
あ
トリップしてる


…どうする？
このまま
放っとく？
ポワ〜
いや…
待とうぜ…
こんな得体の
知れないもの
もらってもな…
あ
だから
絶対コレ
手裏剣だって
見ててよ
それっ!!
お〜〜〜っ
ガサッ
見た!?
すっげえ
飛んだよっ
ははは
ばちーん
はぐぅ!!?
なっ…なっ…
なんて事
するんですかっ
信じられませんっ!!
…いや 今
ソレで
殴ったよね…


…ひどいです
風子くじけてしまいそうですが…
いつまでもくよくよしていられません
先はまだ遠いですっ
ぽかん
なんだったんだ…？
ひどいですっ
プンスカ
最悪な方達でした！
こんなプリチーなヒトデを投げるなんて信じられませんっ
皆さんあまり風子の話すら聞いてくれないし…
プチ最悪ですっ



——あ
あの人は……!!
午後の移動教室の時に気付いたんです
ここだけじゃなく校内のだんごたちが皆いなくなってて…
だんごっつかポスターな


…ふむ
はがされたんだろうな きっと
え…!?
誰が…そんな酷いことを…
だんご達に罪はないはずです!
…お前に言ってなかった事がある
実は部員の募集期間はもう終わってるんだ
この程度見逃してくれると思ったんだがな…
ワリい
…そう なんですか
はーーっ
もう一回やり直しだな ホラ 古河 マスター持ってるだろ
あ…でも それじゃあ また…
何もしないで引き下がるのか?


…それが イタチごっこ だとしても… ですか？
ああ
俺はそう思う
…それよりも
ムダだとしても やるだけやった方が よくないか？
——…
…ほら コピーしに 行くぞ



演劇部
…ふー
全部貼ったな…
うっ
…はい…
あ〜〜…
心配すんなって
これでしばらくは
大丈夫だからさ
なっ？
………
そうでしょうか…
うっ
多分…
なんの確信もないが…
………
ーところで古河…
さっきから気になってたんだが…ソレ…
ーあ


これですか？
今日頂いたんです
カバンに入らなくて
やっぱり…
知らない方でしたけど
あげるって言われて…
ーそのかわりお願いがあるんです
今度風子のお姉ちゃんが結婚するんです！
だからっ一緒にお祝いしてほしいんです！
お願いしますっ!!
ーそう言って…
すごく必死でした
ドクン
…そ
ドクン
そんなのひとつことも聞いてねえぞアイツ…!!
アハハ
ピュッ
そーれ
回想中
岡崎さんもしかしてご存知ですか？
このお星様
？
ん!?
あっ…あー
ドキィッ


ポンッ
ー古河
あのさ…
…それ
実はヒトデなんだ
…え？
わっ ま待ってください！岡崎さんっ!!
てっ
ザッ
くそっ!! あんのバカ…!!
春原後で100回殴る!!
岡崎さんっ ヒトデって…？ ヒトデなんですかっ
カリカリ
カリ
シュッ
ピクッ


ふうっ
ぴかーーっ
んーっ
自分で言うのもなんですがかわいくできましたっ!!
いち…に…
昨日の分とあわせて4つ
ん――…
まだまだ全然足りませんっ
あ
そういえば材料もなくなったんでした
調達に行きましょう
ぱた ぱた
そういえば今日は一回も指切ってませんっ
さすが風子近所で評判の芸術家肌ですっ
ぱた ぱた ぱた
たくさんの生徒にお願いしてたくさんお祝いしてほしいです
お姉ちゃんの結婚式まであとちょっと――…
どんなに大変でも大丈夫です
風子は頑張れます



だって 風子は
お姉ちゃんの喜んだ顔が
世界一大好きですから
ぱた
ぱた…
古河ぁー
そっち
見つかったか？
ガサッ
いえ…
まだそれらしき
ものは…
ガサ
ガサ
あ——
マズったな…


——うっかり古河にバレたら
飛んでった…
えっ!? どこですか!?
探しに行きましょう岡崎さんっ!!
こうなる事くらいわかってたんだが…
おい… 暗くなるぞ
そろそろ帰った方がいいだろ お前は
…はい… でも——…
こんだけ探してないって事は学校外にでも飛んでったんだろ
仕方ないさ
そう…ですね…
じゃあ続きは明日にしましょう
………
それは見つかるまでやるって意味か?
もちろんです
マジか!?
ん?
あ……



あんなところに…
——さすがに俺でも届かねえわ
帰ろうぜ
な？
——ってオイ何してる!?
ギョッ
え…
この木…登れないかと思いまして…
バッ…そこまでしなくていいだろっ!?
でも…
見ていられないです
ほら古河！
……
そうだった
…はい…
こういう奴なんだ古河は——
…お前にはムリだっての…
わ
わっ…!?



それ
ちゃんと持っとけ
ネクタイもな
――は
ぎゅっ
はいっ
ああ――
…くそ
結局
こうなるのかよっっ!
ヤケ


？
なんでしょうか…
一瞬…チラッと見えました
あれは――…
…あれは――…
…ヘンな人ですっ
んぎぎっ
――…
ヘンな人…


…岡崎さんは変なんかじゃないです
あ…っ
とても…優しい方です
プイ
プチ最悪ですっ
…でも風子の大切なヒトデを投げたんです
ひどい…です
キュ〜〜っ
――……


……でもっ
もしかしたら ほんのちょっと いい方かもしれませんっ
願いは
…そこはかとなく
プチ いい人ですっ
想いは
届くでしょうか
ふふ… そうかもです
岡崎さんっ



お疲れさまですっ
ニコ
ニコッ
ニコッ
――あっ
アホか…
…なんだ?
やけに嬉しそうだな
…はいっ!
ふーん…?
プチいい人ですっ
うわっ!!!
ドキッ
な…
なんだお前!
いつからいた!?
神出鬼没が風子のウリですっ
ああ!?
嬉しいです
岡崎さんの事
ちゃんといい方だって
わかってもらえて
嬉しいです



言葉使いとか
態度とか
乱暴な所もあるけど
やっぱり
本当は。
なんで木の上にいたんですかっ
うるせえ人の勝手だろっ
全然悪い人
なんかじゃないです
誤解しないで
願いも
想いも
きっと
届くから

CLANNAD
-クラナド-
オフィシャルコミック

第5回
～「変化」～




…そうか
事情はわかった
…だが生徒会が悪いんじゃない
そういうルールなんだ
そうですよね…
クッ
奴らと同じ事言うんだなお前
生徒会に入るんだろ!?なんとかしてみろよ!
…まだ入ったわけじゃない それに ルールがあるなら従うべきだろう
ちっ
…なんの為の生徒会だか
いえ…仕方ないです
部員募集のポスターははがされていた


生徒会曰く 規則は守るもの
今後 こういう事が ないように
──だと つまり部員募集の 貼り紙すらダメって事だ
…すまない 古河さん
その 力に なれなくて…
いえっそんな… 聞いて下さっただけで 嬉しいですから…
だけど まだ やれる事は 残っていると思う 私も協力 するからな
はい…っ
がんばりますっ
ああ
──とは 言ったものの
やっぱり 無理なんでしょうか…
なんだか…
だんごたちが かわいそうです…っ
説明とか あるだろ…
せっかく今まで やってたのにさ お前…
…はい…
でも…
貼っては はがされ 貼っては はがされて…
まるで だんごたちが 道具のようです…!!
……は?
募集!
いや… 道具だろ!!?


…たかが
だんごーー…
たかがじゃ
ないです…っ!!
いつでも仲良しで
絶対に仲間割れも
しないんですっ
大家族でも
仲良しなんですっ!!
ぽつり
…だから
好きなんです
だんご
大家族が
このポスターだって
そんな事
望んでないと思います…
ぐあ…
感情移入
しすぎだろっ
いつだって
仲良しでー
それに
岡崎さんと作った
思い出の品です…
はーー…
ああ…
わかったよ
よーく
だんごに
負けた
気がする…
…はい
だからもう
ポスターは貼らずに
大切にとって
おきたいです
けどさ
それを
やめたら…
コンコン


ガラララッ
やあ岡崎っ困ってるみたいだねっ!!
僕でよけりゃ手伝わさせてよ!
ぱぱーん
ピシャリ
水くさ…
あ あれ!?
オーイ
ガタ
ガタ
古河なんか他に案ないか?
岡崎!?
え…と…
あーあ ひっでーよなあ
せっかく親友がこうして心配して探し回ったってのにねえ? 渚ちゃん
親友ですかっ素晴らしいです
でしょっ!? 僕ほど岡崎想いのヤツはいないねっ
ははは
げぇ
ーで何? 演劇部の手伝いやってんだって?
はいっ 岡崎さんにずっと助けて頂いてますっ
へーえ
…オマエは間に合ってんだよ



ははっごめんね! コイツ照れてんだよ シャイってヤツ!?
コツ コツ
あ
なんだよ お前ばっか ひとりじめする気かよっ
!?
パン食べ放題なんだろ!? ずりーぞ岡崎
…あ いや あれは…
春原を遠ざける為の嘘だっつーに!!
ときすでに遅し…
…
ん?
ペラ。。。
ふーん… 部員募集ねぇ
あ… それは
その…
ポスターを貼る事も禁止なので これから どうしようかと…
え? なんで?
生徒会から注意されてしまいました
あー 生徒会ねえ
はあっ
…とにかく お前は いいから帰れよ
岡崎さんっ せっかく来て下さった お友達に そんなこと 言ってはダメです…っ!!
な…っ んな事 言ったって お前…!!
へー



つーかさ
そんなの
簡単じゃん？
――…
あっサリ
生徒会の奴ら
シメようぜ！
ぐっ
だ…っ
ダメですっ
そんな
乱暴な事は!!
えええー
ダメなのっ!?
それ以外にも
方法は
あるはずですっっ!!
ま
そりゃ
無理たな…
そもそも
考え方が
違いすぎるんだ
――ほら
古河
ズッ
あ 岡崎さん
どこ行くん
ですか？
そーゆーの
詳しそうな
奴んとこ
お前は
くんなっ
えー


キャッ
キャッ
ねえねえ！次あたしいい？藤林さんっ
きゃあ
きゃあ
あ
はい じゃあ 座ってください
ラッキー
——てすので
雨の日は特に気をつけてくださいね
相変わらず人気ねえ…椋の占い
はふ
お いたいた
おーーい 藤林さん ちょっといい？
なんか告白したいって奴がいるから来てくんない？
えっ
わっ
えええええっ!?
わわわっ
マジでーーっ
なーんて
かあ〜〜〜
ドキドキ
ドキドキ
お待たせしました…
お…
カッ…
は…


ほー…
…へえ
…なるほど こう呼べば ひとりだけ 呼び出せるんだな…
杏まで来たら どうしようかと 思ったけどね…
上手くいって よかったよー
へえ～
?
あの…?
藤林さん ですか?
ビクッ
こんにちはっ
はっ はい
3-Bの 古河渚と 申しますぅ
わざわざ お呼びして 申しわけないです
え?
え!?
女のコ…!?
まさか 女の子だなんて…
心の準備が…っ
そう ですか…?
お… 驚きました…
藤林さんが 委員長をなさってると 聞いて お話が――
ちょ… ちょっと 待ってください っ!!!
ああ…
ふたりの間に バラが見える…



それで…実はお話というのはですね…
ははいっ
バギッ
……はい
ずざーっ
私…っ演劇部を作りたいと思うんです…っ
なっ……
何よそれっっ
がばっ
ビクゥ
うわっ杏!!
やっぱアンタたちの仕業ねっ!?
もうっウチの椋をからかわないでよねっ
お姉ちゃん
大体フツーに呼べないのっ!?アンタたち!!
お前がいるとややこしくなるんだっつーの!
双子の妹
藤林椋
双子の姉
藤林杏



ーっていうか
あんたっ!!
こんなのしか
友達いないのっ!?
えっ
ひでえなオイ
目を覚ましなさいっ
かわりにっ
あ…
あたしたちが
友達に
なってあげるわっ
こっち　あたし
椋　杏
渚って
呼ぶから!
オッケー!?
—あ
ふにゃ…
オッケーです
オッケ!!
じゃ
あっちで
話しましょ!
あ!!


え——
椋の奴 いいトコ 取りかよ
古河に 友達が…
てことは 俺 必要 ないんじゃ…
…や あの…っ
わ わたし ひとりだけなんて 嫌です…っ
今まで… 岡崎さんと一緒に 頑張って来たんです
すごく助けて 頂きましたし ここでわたしだけ… なんて…そんな事…
ゴォオオ ォオオ
だから… そんなの ダメです…!!
…その 友達になって 頂けるのは 嬉しいんですが…
…岡崎さんと 一緒にって…?
え… マジなの?
はい…
——…
ふぅん…
へぇ…
じーん
どういう 意味だ
——…ま 仕方ないわね…
——で?
…あっはい 実はですね…


ガーン
ええっ!?
朋也と陽平が
演劇部の手伝いっっっ!!?
何かの冗談!?
本当です 岡崎さんと春原さんに…
お姉ちゃん…
ーーっ!!?
まーね
あー… 少しな
たしか 部員は・・・ 3人以上いれば いいはずですから
あ…それで前 聞いてきたんだ 演劇部の事…
ええ…
お前 スゲー 失礼だよな
分かってた けどさ
うーんと… そうですね となると…
あとは 顧問の先生さえ いれば 部として 認められるはずです
げっ
3人…


さっすが椋っ
的確な助言だわっ!!
お姉ちゃん…
──…
だきっ
──ん
何やってんのあんたたち
あとは顧問でしょ
捜してきなさいよ
…いや…
フフ…
よく聞けよ
杏…
?
僕が演劇なんか好きだと思うかっ!!?
くわっ
ぶっちゃけ
ただの手伝いだっっっ!!!
いばるなっ
しかもコイツ
何もしてねえよ
一緒に頑張ってるんじゃなかったのっっ!!?
いや───…
まあ
なんつーか…


実際は…
あ…部長がわたし
——以上です…
はぁっ あんたらねぇ…
だから困ってんじゃねーか
なんとかならねーか？
むむ…
…とりあえず
頭数はそろってるんだから
先に顧問を見つけたら？
部員は後でもなんとかなるでしょ
あ そっか
アテはあるか？
古河
…以前演劇部があった時顧問だった先生がいたはずです
多分その先生なら…
よしっ
そうしてみるわ
サンキュー委員長 杏！
ありがとうございましたっ
あ…っ
あ？
何？



──あ
ぱっ
…いや その
…渚っ
が頑張りなさいよ!?
とか…
なんか…
変わったわね アイツ…
──はいっ
パタ パタ
お姉ちゃん…?
しかし…
あの朋也がねえ…



すてきな方たちでした…委員長なんて人望あるのもうなずけます…
ほわわわん
はあ――…
そーか？なんかあいつヘンだったぞ…
んな事よりさその顧問だった先生って誰？
あ…それは調べてませんでした…
マジ？いなくなってるかもじゃん！
担任の象印に聞いてみよーぜ
象印…？んな名前だったか？
職員
ははは岡崎バカじゃん!? 担任の名前忘れるかよフツー!!
確か動物の名前だったよ
なんだ？お前たちが演劇部!?
ガタッ
細かい事はいいじゃん
知ってるでしょ象印センセー
乾だっ
なに？
演劇部の顧問!?
3-D担任
乾先生
……まぁちょっと待ってろ
うっす
……と
ああそうだった
ウセェ…


はぁ!?
幸村ぁ!?
そう お前ら 1年の時さんざん 世話になっただろ
あと 先生をつけろ
この時間なら 生徒指導室の方に いるかもな
――ところで
君 大丈夫かい？ こいつらに悪さとか されてない？
…ええっ!? とんでもありませんっ
こちらこそ 迷惑をかけて しまってます…!!
そう？ ならいいけど
うわっ ひでぇよセンセー
傷つくなー
春原… お前な 少しは 自分の素行を 反省しろ
ま… 当然だな
んー
…生徒指導室 だったな 先出てるぞ
あっ？ 岡崎さん
おいっ あいさつくらい していけっ 岡崎！春原!!


ありがとうございましたっ
いやいや
バンッ
くっそ腹たつ！
…いつもの事だろ やめとけよ
そうだけどさっ 岡崎だってムカついただろ⁉
見たか⁉ あいつらの顔！ 何もしてねえっていうのによ
また問題でも起こしたかって顔してたぜ‼
…別に
あの反応が普通だろうよ
お待たせしましたっ
他の先生につかまってしまって…
あ 渚ちゃん
そんなのムシしちゃえばよかったのに
岡崎さん？
…いや
――さて 幸村いるかな…
ふいっ
あー 生徒指導室だっけ
たりーな
……？


…しかし
自分から行く事になるとはな…
…おふたりは
ご存じなんですか
幸村先生
ああ…
1年の時
ちょっとな…
かなりボケてた
からねぇ…
そろそろ
くたばってんじゃないの？
え…
春原！
あっと こりゃ
失言だったね！
気にしないでよ
渚ちゃん
カラ。
あ
——ん？
生活指導
幸村俊夫先生
よう ヨボジイ
うす
………
…おそろいで
何か用かの…？
はあ？
用がなきゃ
わざわざこんなトコ
来るわけないじゃんっ
ボケてんじゃない？
す…
春原さん!!


なんだよっ
ぐいっ
――して何かの？
…あ はい えーと…
ふむ…
ワシにもう一度演劇部の顧問をやってほしい…と
どうなんだジイさん 部員も一応3人いるぞ
お願いできますでしょうか…
……
……
2年のね… 仁科という子と話をしてみてくれんかの…
はあっ!?
なんでことわっ
ガッ
へぶっ
あだだだ
わ…わかりましたっ 2年の仁科さんですねっ
うむ…
また来ますからっ


ぶすっ
あー 頭いてぇ… ていうか顔いてぇ
オッ
大体なんだろね あのクソジジイ… もったいぶってさ
春原さん…っ そういう言い方は その…良くないと 思いますっ
えー だってアイツ トロくさくてさ 見てると ムカつくんだよね
ガあっ
どういう つもりだよ そりゃあ!!
岡崎さんっっ
てめ…っ
あんだよ! お前だって パン目当て なんだろっ!?
や… やめてください ふたりともっ!!
…あーあ なんかマジ 白けるっつーの
やだねぇ 自分の事 棚に上げてさ
春原さん…
あー ごめんごめん 渚ちゃん!
明日はちゃんと 気をつける からさっ
あ… わかりました お願いします
違う



…春原は単に
暇つぶしで
面白がってるだけだ
俺は…
助けてやりたい
って――……
――だけど
俺と春原は
同じ側の人間だ
一生懸命な奴を見て
バカバカしいと
思っていたんじゃ
なかったか？
以前の俺なら
冷めた目で
見ているはずだ
あ…はい
今日は色々と
ありがとう
ございました
いーのいーの
ああ ご両親に
くれぐれも
よろしくねっ!!
はい…？
じゃ
僕 ここで
あっ
あの
岡崎さん
わたしたちも
帰りましょう
もう
2年生も
帰っちゃってる
みたいですし
でも…
――…
古河に
会う前の俺なら
今日一日
楽しかったです
わたし
そーだな…



楽しかった？
……あ？
皆さんと一緒ですごく充実していました
…なんでもいいんだなお前
はは
そっ そんな事は
たぶん
ひとりじゃないから
ひとりだったらもっと早くくじけてしまっていたと思います
今は
すごく心強いです
それはつまり……
…そーか
かぁ
はい
——つまりはそういう事だ


なんの為の生徒会だ
…でもそれがルールですから仕方ないです
——そうルールは守るものだ
間違ったやり方で周囲を押さえても自分自身にウソをつくことになる
正しいやり方だからこそ成功した時に意味あるものになるんだ
——とはいえ
何もしてやれないのは辛いな…



――何か ご用ですか？
はっ
すまない 邪魔してしまった
歌声が 聞こえてつい…
癒された
素敵な 歌だったぞ
ニコ
ありがとう ございます
ニコ
…よかったら 合唱部に 入りませんか？
――――ん？



——いや 私は部活動はちょっと…
なんた このデジャヴは…
くょぼーん
そうですか…ちょっと かなり残念です…
はた
——…
合唱部？
はい！
来週から活動するんです
部長の仁科りえです
ザッ


そりゃ閉まってるよな
ーーって何をがっかりしてる俺！
ちょっと通りがかっただけじゃねーか！ストーカーか!!
わ
岡崎さん…？
ドッキン
ふ…古河…奇遇だな…
ドッキン
はいっ
…しかし
まさかこんな時間まで練習してるとはな…
偉いな お前
いえっ そんな…
あまり演劇に詳しくありませんしせめてと思って…
ま・それ自体がどうなるかわからないんだがな
でもびっくりしました
帰ろうと思ったら岡崎さんが家の前に…
ああ…
何か用事だったんですか？
いや別に…
あ〜〜ホラ不良って言ったろ？
まだ帰るには早すぎるんだ
…でぶらぶらしてたらちょうど通りがかって——
だな
それは本当なんですか？


――え……
…前から気になっていました
――本当は
本当は家の方と上手くいかなくてそれで夜中まで外に出て…
不良っていうのも遅刻が多いだけなんじゃないですか？
…不良だなんていまだに信じられないです…
――……
……でも
――驚いた
そんなに話してしまっていたのだろうか
違うよ
考えすぎだ…
もし本当に家に居づらいなら――…


岡崎さん
家に来ませんか？
…お互い 一度
距離をおいてみる
のも大事な事です
学校だって
家から通えば
遅刻せずにすみます
だから
だから…
そうしませんかっ
…そうだな
そう
できたら
いいな
古河の存在に
救われる


支えられているのは俺の方だ
はい…
渚ー
そろそろ家に入れー
あ お父さんとお母さんです
お 大宇宙じゃねえか
あら コズミックさん こんばんは
…岡崎っす
岡崎さん よかったら夕飯食べてってください
あ いや 俺は――…


…いや
今日は帰るわ
そうですか…
また今度遊びに来てください
ああ またな古河っ
おうっ はいっ
ははっ
支えたり支えられたり
こころが軽くなっていく気がした
笑える家族だ

CLANNAD
-クラナド-
オフィシャルコミック

第6回

～one and only～




キーンコーン
カーンコーン
――あの すみません
このクラスに仁科さんという方はいらっしゃいますか？
仁科さん？ちょっと待って下さいっ
上級生だよ
誰っ
りえちゃん お客さんだよ～
あ 失礼します


行っちゃったね 渚ちゃん
なんかさ めんどいことに なりそうじゃない？
お前さ… 余計な事 すんじゃねえぞ
余計な 事って？
…ま そんなら 裏で上級生の厳しさ ってのをわからせて やってもいいけどっ
それが 余計だって いうんだよ
あいつは そんなやり方 望んでないんだ
黙って 見てろよ
…なんつーか バカ正直 だよねえ…
良くも 悪くもさ
…ふーん
あ 呼んでる


どうなった
古河——……
じろっ
あ
こちらが
お話した
岡崎さんと
春原さんです
こんにちは
仁科です
で こちらが
仁科さんと
杉坂さん 原田さんです
黙ってろよ
春原…!!
どーも
ちっ
ちーす


――で？ 話は？
あ…はい
それが…少し困った事になりまして…
――あの 実は 私たちも先日 幸村先生に
合唱部の顧問を お願いしたんです
杉坂さんと 原田さんも 入部してくれて 3人集まって
…来週から 活動できると 思っていましたので
お話を聞いて 少し 困って しまいました…


…なら仕方ない
他を当たるか古河…
あ…
それができないから困ってるんじゃないですか!!
顧問になれる先生はもう 幸村先生しか残ってないんですよ!
つまり どっちかしかダメって事になるじゃないですかっ
カチッ
わ…わっ
ああ!?
そんなモン知らねーよ! 口のきき方に気をつけろよなっっ
はあっ!? だから今 説明してるんですっ!
やめろっ 春原!!
落ちついてっ!!
すみません… 私たちもどうしたらいいか…


いえ
そんな…っ
岡崎さん
春原さんっ
どう
どう
すみません
わたしたち
話し合って
また来ます
聞いて下さって
ありがとう
ございました
――はい
私たちも
何か良い案がないか
考えてみますね


むすっ
んだよあいつっ クソ杉坂ムカつく!!
上級生の言うことは黙ってきけばいいんだよ!!
アタマきたー
春原さん
手出さなかっただけ マシか…
大体さっ! 下級生なら僕にメロメロのはずじゃん! オカシイでしょっ!?
おめでたい奴だな…
オカシイのはお前だ
…古河?
…もう
差はついてしまってました…
スタート地点は同じでも
仁科さんたちは部員も集めてもう一息という所なのに――…
――…
やっぱり… わたし――



まだ早い
結論はまだ出てない
…夢なんだろ？演劇部
…はい
う〜ん
──まこのままやるのも構わないけどさ
僕としては杉坂あたりシメちゃった方が早いと思うけどねえ
またオマエはそーゆー事をっ!!
そんな事しませんっ!!
ん──まあそういうのもアリかもねえ〜
めんどうだねえ…
すたすたすた
コラァ春原っ!!



古河 …悪いな
いえ 全然 気にしてないです
きっと わたしが 落ち込みそう だったから 冗談言ったんです
…………
……そうかな
ぜってー 違う…
きっと そうですよ 岡崎さんの 親友 ですから
…え…
りえちゃん…!


…どうするの？これから…
あの人たちも部活だって…
うん…どうしたらいいかな…？
そんなのんびりしてちゃだめだよ!!
いいの!?
やっと合唱メンバー集まったのにできなくなっちゃうかもしれないんだよ!?
りえちゃんは合唱あきらめちゃダメなんだからっ!!
──だからね
どうしたら皆がうまくいくのか考えてみよ？
ね？


翌日
オハヨー
ふあああっ
大きなあくびです
クスクス
ああ…
お前と登校するようになって遅刻してないからな…
おかげで寝不足だ——ったく
…夜寝られないんですか?
——いや どうせ授業中寝るからいいけど
すぐ真にうける
全然良くないですっ 夜に寝て下さい
あ——ハイハイ
ガヤ


バタン
あ
あ?
ひょっ
ラブレターでも
もらったか?
パッ
ビクッ
わあっ
――これ
演劇部をやめ
もなくば
痛い目にあう
脅迫状(きょうはくじょう)じゃ――


あ…
ち…
違いますこれは…っ
な なんでもありませんから……
なんでもないって…んなワケ——…
はっ
ムッ
あいつら…っナメた事してくれんじゃねぇか…っ!!
ち…違います!!
わたしが…自分で書いたんですっっ!!


……本当です…!!
自分で書いて…ゲタ箱に入れただけですから…っ!!
へえ――脅迫状だなんて面白くなってきたじゃん!!
――……
もういいだろう
合唱部潰すぜ?
なんで…そこまでして――……


…ダメです…
なんでだよ!? こんなのカンペキあいつらじゃん
厳しさわからせてやるって!!
そうだったとしても…! やめて下さいっ!!
ムカッ
お前ね…! 一体誰の為にさ…っ!!
すみません… だけど ここはこらえていただけませんか…っ
お願いです春原さん…
お願いします…っ


ザワ
ザワ
…もういい 帰れよ お前
なんて今日に限って早いんだよ
バカ正直にやったって 結局バカ見るだけじゃん
部活なんて真剣にやってる奴の気が知れないね!
ちっ——くそっ
オラッ
どけよ お前らっ
ザワ
ザワ


……古河
…部活——
え？
もしかして春原さんは何か部活に嫌な思い出があるのでしょうか…
何か妙につっかかる口ぶりが気になります
——ああ
…俺と同じだよ
サッカー部でスタメンだったんだあいつ
他校と問題起こして停学くらってあげく退部するしかなかったって
…古河の事言ったんじゃないと思うぜ…
気にすんなよああいう奴だ
——ならやっぱり…


やっぱり春原さんにも演劇部にいてほしいです
もう一度…皆さんで一緒に頑張りたいです
後で春原さんの所に謝りに行きます
――そうか
古河が演劇部にこだわる理由
それは自分が送れなかった集団生活へのあこがれに違いない
留年してまともな学校生活を過ごせなかった古河
なんの事はない



俺たちふたりと古河は
レールから外れた似たもの同士だったんだ
春原さんっ


そういえばさ
渚ちゃん
あれから
合唱部 何か
言ってきたの？
——あ いえ
特に何も…
マジ!?
最悪じゃんっ



あいつらマジ
ひほほもごもふ
がへもげばばびっ
ぷんぷん
きたねーな
食うか話すか
どっちかにしろよ
もっしゃもっしゃ
また放課後
仁科の所にでも
――…
ザッ…
…こんにちは
古河先輩
杉坂さん
原田さん…!!
ガッ
――あっ
お前ら…っ!!
あの…今日は
お話をしに
来たんです
ごめんなさい…っ
でも 私たちの話
聞いて
もらえませんか…!


ぶぁーか!!
そんな モン 誰が 聞くかよっっ!!
くわっ
春原さんっ!
すみません 聞きます 話
あ・・
ありがとう ございます・・・
〜〜〜〜っ
・・・・・・・・
――まず
手紙の事・・・ すみませんでした それは謝ります
でも ああしないと りえちゃんが合唱部で 歌えなくなると 思ったんです
りえちゃんには もう・・・
合唱部しか ないんです


りえちゃんはヴァイオリンを習っていたんです
ヴァイオリンを弾いてる時のりえちゃんは本当に楽しそうで…凄く上手だったんです
私も…周りのみんなも
りえちゃんのヴァイオリンが大好きでした
――でも
りえちゃん事故にあって…
ヴァイオリンを弾けなくなってしまったんです
幸村先生に合唱の楽しさを教えてもらって
りえちゃんにも笑顔が戻って…
メンバーも集めてやっと夢が叶うってりえちゃんも喜んでたのに…


お願い
します…!!
ザッ
ギュッ
お願いです
りえちゃんに合唱部を
させてあげて下さいっ
うるせえよっ!!
そんなハンデが
なんだってんだ!!
そんなの
聞くなっ
古河!!
それを盾にして
同情で気を引いて
嬉しいかよ!!
そんな…
ハンデで…っ!!


…でも もう知ってしまいました
それを無視して
わたしだけ夢を叶えるなんてできません…
…古河！
仕方ないだろう それは…！
お前だって夢なんだろう!?
…だけど それはわたしだけです
わたしひとりの夢で仁科さんの夢がなくなってしまうなら
ちが…っ
仁科さんはこんなに期待されてるんです
—わたしは
演劇部をあきらめます


すみませんでした
幸村んトコにも言った
仁科には――……
あいつらが言うだろう
春原はあれからすぐ帰っちまった
残ったのは俺と古河だけか…
――終わったな全部
…はい
ありがとうございました岡崎さん
ま…お前の決めた事だしな…


よく頑張ったよ
お前
〜〜っ
うっ
うう…
ぐすっ
そうして
声を殺して
泣く古河が
痛々しくて
体が勝手に
動いていた



ビクッ
え
…こ
困ってしまいます…
いいよ
泣いても
ー本当は
そうされてると…
安心して
もっと泣けてしまいます…
お前の頑張りは
全部
見てたよ


はい…
本当は
ずっと
こうしてやりたかった
のかもしれない
…なぁ古河
面白い事考えたんだ 俺
面白い事ですか…？
きっと明日から
毎日 学校が
楽しくなる


――明日さ朝起きたら
俺と古河が恋人同士だったら面白いと思わないか？
俺が彼氏で古河が彼女だ
…でも
きっと岡崎さんわたしに嫌気がさして…学校も嫌になってしまいます…
そんな事ない
そうでしょうか…
…だって俺は
古河の事が好きだから



[CLANNADオフィシャルコミック①・完]

クラナド
よんこま


1
失礼ですっ
風子大人の女性ですっ


あ
うっとり・・・
…また旅立ったなコイツ
入れかわってても気づかねーんじゃねえのか…?
さっ
さーっ
……ハッ
わーっ!?
人体模型
た…っ
大変ですっ
岡崎さんが剝けてしまいましたっ
半分ムケてますっっ!!
ヘンな言い方すんなっっ!!
気づけ!!



お姉ちゃん〜 英和辞典借りていいかな…
珍しいわね 椋が忘れものなんて
あたしはさっき使ったから大丈夫よ
ありがとお姉ちゃん
ゴソゴソ
はい
英和辞典
ドロ…
ほらほら遅れるわよ〜っ
お姉ちゃん…
さっき使ったって何に——!?
②


3
今日はお店のパンを持ってきました
マジで⁉
超人気パンが食べられるなんて幸せだよ僕っ
いただきまーーす‼
ぱくっ
あ
それは…！お母さんの魚入りDHAパンですっ
はっ⁉
今僕落ちてなかった⁉
あ
…そんだけ美味かったって事だろ
がばっ

お買上げありがとうございます!!



突然 頂いたメールがきっかけで．あれよあれよという間に
単行本まで出して頂ける事になりました。
大好きなゲームの漫画を．私の様な未熟な者に
描かせて頂けた事．この場を借りてKeyスタッフ様に
感謝とお礼の気持ちを伝えたいと思います。
そして．この本を手にとって．ここまで読んで下さってる方にも
最大級のありがとうを！ ああ… 本当にありがとうございます…！マジでマジで
本編のゲームのCLANNADの方は．本当にもの凄いゲームで．
それのコミカライズという事で．多大なプレッシャーの中の
作業ですが．私が感じた想いや感動を．自分なりに
つめ込んでいけたらいいなぁと思います。
未熟なりに精一杯頑張ります。2巻も宜しくねっ

みさき樹里

★ Special Thanks ★

まりも．あすらくん．会長．轟さん．夏野さん
担当の喜多村さん．JIVEのスタッフさん 黒木の皆様
応援して下さる皆様．本当にありがとうございます！

CR COMICS

CLANNAD オフィシャルコミック①

●2005年11月12日　初版発行
●2007年 9 月24日　第 6 刷発行

著者●原作：Key
漫画：みさき樹里

発行者●石川順恵
発行所●ジャイブ株式会社

〒160-8565 東京都新宿区大京町22-1
●編集／TEL:03(5367)2744
●営業／TEL:03(5367)2725　FAX:03(5367)2709
●注文センター／TEL:049(274)1653　FAX:049(259)5244
●ジャイブHP:http://www.jive-ltd.co.jp

印刷所●図書印刷株式会社
電植製版●株式会社オノ・エーワン

Printed in Japan
ISBN978-4-86176-249-9
初出●月刊COMIC RUSH 2005年5月号～10月号掲載

デザイン●sio

制作協力●有限会社パルプライド（喜多村・深井・千原）

9784861762499
ISBN978-4-86176-249-9
C0979 ¥562E
1920979005624
ジャイブ
定価 本体562円 +税



高校で不良として有名な岡崎朋也は、校門までの桜舞い散る坂道で同じ三年の古河渚と出会う。心に傷を抱えながらも明るく過ごしている仲間たちに囲まれて、渚と朋也はお互い失くしたものを補うように少しずつ距離を縮めていく……。